

## 日立メディカルセンター看護専門学校長就任のご挨拶 学校長 末永 仁

この度、当看護専門学校の第 10 代目の学校長に就任いたしました、末永 仁でございます。一言ご挨拶させていただきます。まず、前学校長の小澤 興先生が 9 月 19 日に永眠された事をご報告致します。平成 18 年 4 月から 10 年 2 ヶ月の長きにわたり、当看護専門学校を牽引されました。在任中には新校舎の建設、移転を果たされ、東日本大震災の時は、学校全体を一つにまとめて乗り越えられました。その人格、教養と風格は看護専門学校長としてまさにふさわしいものでした。

昨年秋より体調を崩され、一時入院もされましたが、卒業式も入学式も無事に務められ、体調は安定したものと思われました。任期の延長が決まった直後に辞表を提出され、その後闘病生活に入られました。残念ながら 9 月 19 日に永眠されました。心からご冥福をお祈りいたします。

小澤先生の辞表を受けて、齋藤 義雄メディカルセンター理事長から学校長に就くように、というお話を頂きました。あまりに突然で躊躇もしましたが、20 年近く教鞭をとり、副学校長を務めさせて頂いている事もあり、お引き受けするに至りました。どうか、ご指導、ご鞭撻を頂きますよう、お願いいたします。「末永で大丈夫か？」というご心配があるかと思いますが、私の暴走を制御できる、しっかりした副学校長をつけて頂くように齋藤理事長にお願いし、日立厚生医院の嶋崎陽一先生に副学校長をお受け頂きました。これで少しはご安心頂けると思います。

受験者数の減少、准看護学科から看護学科への進学者の減少、実習医療機関の減少、TPP による准看護師制度の更なる締め付けなど、問題は山積みですが、一つひとつ解決策を提示できるよう努めていきたいと思っております。また、OB 諸氏には、今後の選択肢として、母校の教諭を加えて頂くようお願い致します。地域医療を支える看護職につこうという後輩たちを我々と一緒に育てませんか？いつでもお待ちしております。



### 看護学科 健康科学 研修旅行 9 月 30 日～10 月 1 日



#### 劇団四季 アラジン鑑賞して

##### 看護学科 1 年

アラジン鑑賞して自由とは何か、自分らしく生きるとは何かを考えさせられました。アラジンは日々の生活の貧しさから盗みをして暮らしていましたが今の自分に疑問を持ち、変わりたいと願い葛藤しながらも成長していく姿に自分を重ねていきました。偽りの自分では意味がないことに気づき、全てを失うかもしれないけれど、正直に本当の自分を打ち明け、ありのままの自分で生きようとするアラジンの姿に強さを感じ勇気をもらいました。

看護師になることは自分で決めた道なので最期まで諦めずにやり通したいです。自分と向き合うことができ有意義な時間を過ごし、また完璧な演技により物語に引き込まれました。看護技術も art と言われるように、看護者と対象が相互に作用し合って精神的変動を得る、成長する点で共通しています。今まで学んだ技術は正確に実施できなくてはならないと感じ、刺激を受けました。専門職としてこれからも自己研鑽していきたいです。

#### 二日間のグループ行動を通して

##### 看護学科 1 年

研修旅行を通して、協調性や思いやりの大切さを学ぶことができました。グループ行動においてメンバーとの報告・連絡・相談により、良い時間を過ごすことに繋がりました。

解剖見学、ミュージカル鑑賞、自由行動では東京散策を行いました。解剖見学では学ばせて頂く気持ちを念頭に置き、看護学生としての自覚を持った行動を取ることができました。夜の自由時間では、ダイバシティへ行きウインドーショッピングを楽しみ、夕食時は仕事での悩みや今後の目標を語り合うことができました。このような貴重な時間は他に無いと思えました。

二日間のグループ行動を通して、私は思いやり・協力する気持ちを持つことでより楽しく意義のある時間を過ごすことができると考え、この学びを振り返ることで今後の学校生活に活かしていきたいと思っております。そして、チーム医療の一員としての自覚を持ち、准看護師として働き患者にとってより良い看護を提供していきたいと考えます。



戴帽式を終えて

准看護学科 1年

今日、戴帽式を終え、改めて私の夢である看護師になる一歩を踏み出すことができました。私は、看護師になりたいという一心で入学をしました。4月から今まで、勉強や実習を通して、看護師の役割、看護師になるために必要な事を学んできました。これからは今まで以上に看護職に就く事を自覚し、勉強や実習に臨んでいかなければならないと気付くことができました。そして、知識、技術を身に付け、身体的、精神的にも自分自身を磨き、高めていきたいと思えます。

これからは、今まで以上に勉強や実習、その他辛いことがたくさんあると思えます。一生懸命に努力をして夢である看護師になりたいです。辛い時は、今日の戴帽式の事や看護師になりたいと思ったきっかけを思い出し、初心に戻り乗り越えていきたいと思えます。

看護師として人の命を救う手助けをしたり、人の心の内に寄り添ったり、和らげたりしたいです。私が入るためにできることは何かを考えて日々生活を送っていききたいです。そして、ナイチンゲール誓詞に誓った事を忘れることなく、人から信頼される看護師になれるよう目指していききたいです。

2016年10月20日(木)

准看護学科戴帽式



戴帽式を終えて

准看護学科 1年

私は今日、戴帽式を終えて、今までよりももっと看護師になりたいという気持ちが強まりました。4月に入学してからすでに半年が経ち、少しずつ学校と仕事の両立にも慣れてきて、入学で引き締まった気持ちが少しだけ緩んでしまっていたかなと感じていました。しかし、戴帽式が近づいてきて、ナイチンゲール誓詞の練習や、戴帽式のリハサルが行なわれるようになってきて緊張感が高まってきました。

今日、戴帽式を終えると、これから実習に行くようになります。今までよりもいっそう気を引き締めなくてはいけないなと思いました。また、戴帽式で誓ったナイチンゲール誓詞をずっと忘れることなく、この言葉のように患者さんのために自分を犠牲にしても尽くせるような看護師になれるように頑張る勉強していきたくて新たに決心する機会になりました。

この決心を、2年生になっても、准看護師になってからも忘れないように努力していきたくて思いました。



2016年12月10日(土)

場所：シビックセンター

准看護学科1年生

ニコ・カーニバルへ参加しました！

